



もっと知って緩和ケア

治療を受けている「今」や、治療内容に迷う時、「ちょっと話を聞いて欲しい」と思われる方もいらっしゃると思います。体のつらさ、生活上のつらさ...ご相談ください。院内の緩和ケア認定看護師は3人、東4病棟遠藤俊江、東5病棟野溝弘子、今回ニュースレター担当の緩和ケア病棟小林です。入院中だけではなく、外来通院している方や検査を受けた方、これから治療を開始するかもしれない方やご家族の皆さん...これからのことを考える時にお手伝いさせていただきます。一緒に考えて行きましょう。

そして、ここから先は緩和ケア病棟についてのご案内です。どんな病棟なのかわからない方も多いと思います。病棟看護師の思いや患者さんご家族との向き合いかたを通してご紹介します。



点滴やおしっこの管など**医療的な処置**については**患者さん、ご家族と相談**して決めます。これからの時間の過ごし方のご希望を伺わせてください。一緒に考えて行きましょう。もちろん、サービスを整えて**外出や外泊**もできます。

今治療中だけど痛みやしびれがあつてつらい。不安で眠れない...これまで受けた治療でつらい症状が続いている...**専門の医師や薬剤師、看護師、院内のたくさんの医療者と協力して緩和**できる方法を検討します

皆さんの心のオアシスになれば...「オアシス会」というお楽しみ会を企画・運営しています。ボランティアに来ていただいたり、看護師が歌や演奏をお届けしたり...皆さんに**笑顔**をお届けします。季節感ある飾りつけが患者さんやご家族皆様にとっての癒しになるといいな...

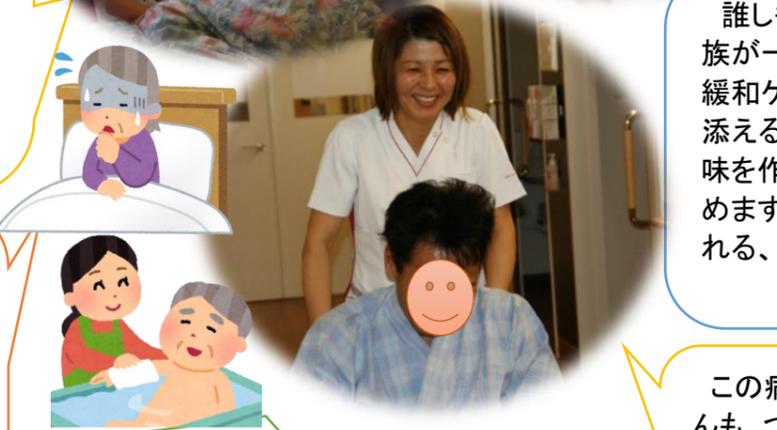


実は考えていた**最期の時期のこと**。ご家族に心配や迷惑をかけたくなくて誰にも話せなかった。「これからどうなるの?」「今やっておきたいことがある。」誰かに**聞いて欲しくて、相談に乗って欲しくて、でも言えなくて**。そんな気持ちを私たちに聞かせてくれませんか?どんな時でも私たちは側に居ます。一緒に考えれば、何か見えるものもあると思います。



「かつ丼が食べたい」「明日はカレーが食べたい」**ご家族からの差し入れ**、食べられる量は少ないかもしれない。食べると吐いてしまうこともある。でも、患者さんの「おいしいなあ」の言葉、「一口だけでもいいんです。本人が嬉しそうなので」とご家族の言葉、その言葉が私たちも嬉しいんです。時には**お酒**もいいですね。眠れない夜にはカップラーメンを作りましょうか...

一般病棟の多床室でつらくても声も出せずに過ごしている人が居ます。声を押し殺して残りの時間を過ごすのではなく、**個室**でつらい時には声をあげられる、人目を気にせず「痛い」「悲しい」と言うことができる場所が病院にあっていいと思います。みなさんが少しでも我慢せずに居られる場所でありたいと思っています。



誰も人生に1度しかない「人生最期の時」に、家族と一緒に過ごせる場所でありたい。緩和ケア病棟なら、ご家族の皆さんが交代で付き添えるよう、**ご家族の休憩室**があります。いつもの味を作れる**キッチン**があります。みんなで食事を囲めます。病院でありながら、自宅の雰囲気を感じられる、そんな安心を感じていただけたらと思います。

だんだん寝ていることが多くなってきたけれど、お風呂が大好きな人でした、**ご希望**があれば私たちはそれを叶えるために力を合わせます。

この病棟にいらっしゃった患者さんご家族の皆さんも、つらい時間を過ごしてきて緩和ケア病棟にたどり着いた方々がたくさんいらっしゃいます。だからこそ、症状を和らげた上で、「**良い時間**」を過ごしていただけるように看護することを大切にしています。

つらい症状がある時や残された時間を過ごす時、人生のとあるタイミングで緩和ケア病棟がお役に立てることがあると思います。もしご興味のある方はパンフレットのご用意があります。お近くの職員までお声かけください。また、病院のホームページにも情報が掲載されておりますのでご利用ください。入院は特定の疾患の患者さんが対象ですので、併せてご確認ください。



新たに3人の認定看護師が加わりました!
認定看護管理者: 林文子
訪問看護認定看護師: 牛澤弘恵
認知症看護認定看護師: 宮川英司 よろしくお願ひします

ニュースレターは年4回の発行を予定しています
認定看護師の院内外での活動を紹介していく予定です。
●認定看護師に関するお問い合わせは庶務課まで
TEL : 0266-23-8000
Eメール: mail@okaya-hosp.jp

